

サイトップのキュアー条件参考例

取扱い上の注意事項

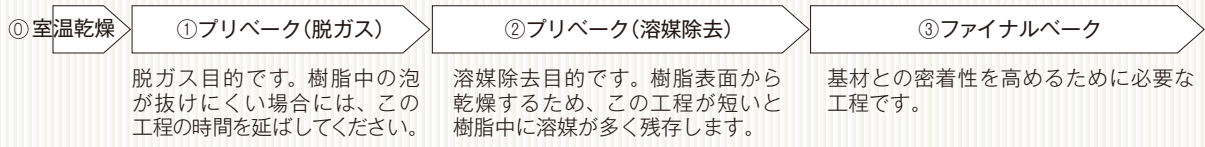
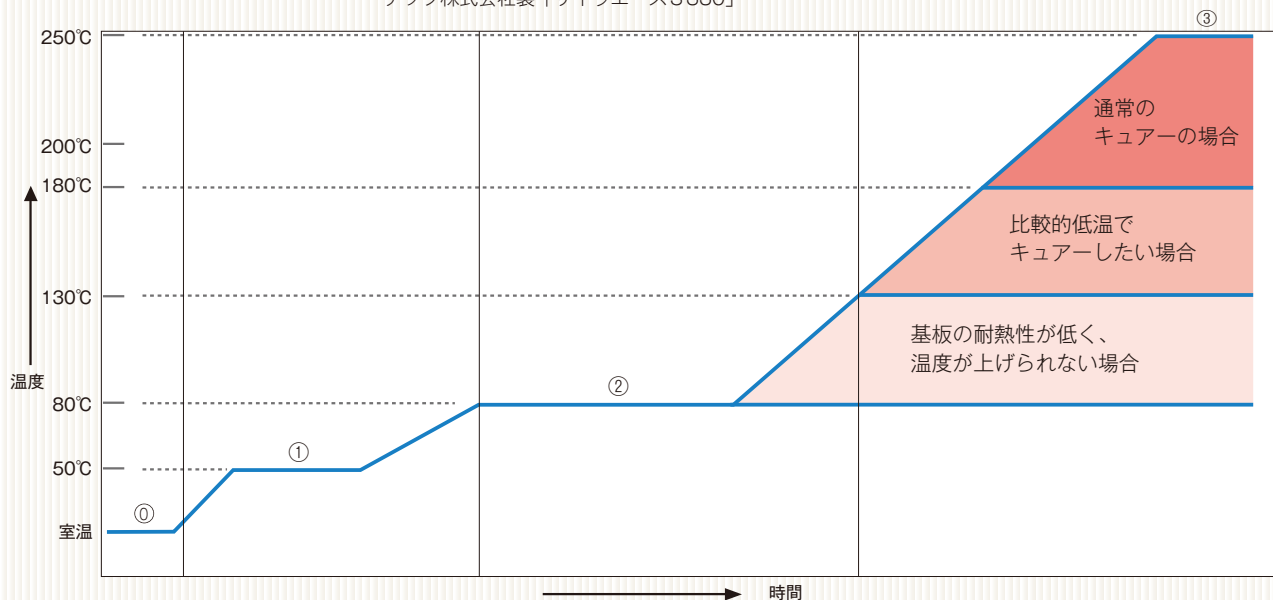
ご使用前に、必ずMSDSをお読みいただき、安全な取扱いに充分ご注意ください。お願い申し上げます。

サイトップは、品番により推奨ベーク条件が異なります。

サイトップ品番	溶媒	特徴	ベーク条件例	ファイナルベーク推奨温度条件例
100番台シリーズ(Dipコート向け) 例：CTL-109AE CTX-109AE CTL-107MK	CT-SOLV100E CT-SOLV100K	溶媒沸点が100℃ 常温で溶媒が揮発しやすい。 溶液粘度が低い。	室温乾燥 5~30分 ↓ ファイナルベーク 60分	80℃以上 200℃以下
800番台シリーズ(Spinコート向け) 例：CTL-809A CTX-809A CTL-809M	CT-SOLV180	溶媒沸点が180℃ 常温で溶媒が揮発しにくい。 溶液粘度が高い。	室温乾燥 5~30分 ↓ プリベーク 50℃~100℃ 10~60分	180℃以上 250℃以下

- ・最適ベーク条件は膜厚、基板、プロセスによって異なります。
- ・最適ベーク条件(温度、時間)はお客様でご検討いただくようお願いします。
- ・溶媒を完全に蒸発させかつ下地との密着力を上げるため、出来るだけ高い温度でのファイナルベークを推奨します。
- ・溶媒が残った状態で高温ベークをかけるとコート表面がザラザラしたり(袖肌)、膜厚ムラが発生する場合があります(特に800番台シリーズ)。
- ・コート表面がザラザラしたり、膜厚ムラが出た場合はプリベークの温度を下げたり、時間延長、下図のような段階的なベークングなど行い溶媒乾燥速度を落とすような対策を行ってください。
- ・ホットプレート、オープンでも同様な条件です。

*推奨ランカッピング剤 $\text{H}_2\text{NCH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{Si}(\text{OCH}_2\text{CH}_3)_3$ (3-アミノプロピルトリエトキシシラン)
 信越化学工業株式会社製「KBE-903」
 チッソ株式会社製「サイラエースS330」



100番台シリーズ	5~30分	不要	不要	80~200℃×30~60分
800番台シリーズ	5~30分	50℃×10~30分	80℃×30~60分	180~250℃×30~60分

* 薄膜(5μm以下)の場合には、「①プリベーク(脱ガス)」工程は不要となります。